

『けんちゃんとゲンゴロウ』



8

けんちゃん、夢のなか

ドジョウ博士

(博士の声。起こすように)

けんちゃん…、けんちゃん…。

けんちゃん

(ねぼけて)

ムニヤムニヤ…。

おじいちゃん、まだ眠いよお、ムニヤムニヤ。

ドジョウ博士

けんちゃん、起きてください。

わたくし、ドジョウ博士です。

けんちゃん

えっ!?!?!?!?!(あたりをみわたして)

ここはどこ?!?! ぼく、どうなってるの?!

ドジョウ博士

さきほどは、わたくしを逃がしてください、

どうもありがとうございます。

お礼に、ゲンゴロウ君のところへ連れて行って

あげましょう。

どうぞわたくしの背中に乗ってください。

けんちゃん

わあ、ぼくゲンゴロウに会いたいと思ってたん

です!!

ドジョウ博士、どうぞよろしくおねがいします。

ぬ

【解説】

「ドジョウ」

泥鰌汁や柳川鍋で知られるように、昔から食べ親しまれてきた魚。田んぼや水路などにすんでいます。雑食性で、全長は12センチメートルくらい。5対10本の短い口ひげが特徴で、水底の泥や砂の中にあるエサを探すのに役立ちます。

田んぼが主な繁殖場所、6〜7月に水路から田んぼにやって来て産卵します。しかし、ドジョウが見られる田んぼも少なくなってきました。田んぼの大規模化や圃場整備で、水路の段差が大きすぎたりすると、水中を泳いで移動するドジョウたちは田んぼまで上って来ることができないからです。

生き物にとっては、川ー水路ー溝ー田んぼの水のつながりが大切です。生き物がすみやすい田んぼを復活させようと、水路と田んぼをつなぐ魚道を設置する農家も増えています。



ドジョウ



世羅町田打地区の水路と田んぼを結ぶ水田魚道